

記者発表（発表・資料配布）				
月／日（曜）	担当課室 （担当係名）	ダイヤルイン （内線）	発表者名 （担当名）	その他 発表配布先
5／25（火）	農林水産技術総合センター （農業技術センター農産園 芸部）	0790-47-2424	前川 和正 （玉木 克知）	北播磨県民局 県政記者クラブ

新樹形「オーバーラップ整枝」が特許登録

1 概要

イチジクの凍害や夏季の日焼けの軽減を目的に開発した「オーバーラップ整枝」が、令和3年2月に特許として登録されました（特許第6840311号）。

2 オーバーラップ整枝開発の背景と特長

県内のイチジク産地では、一文字整枝が多く導入されています。この整枝法は、収穫作業がしやすいものの、主枝が水平であるため、主枝上面からの放射冷却により、凍害を受けやすいという問題がありました。

オーバーラップ整枝では、主幹を畝沿いに片側1方向に倒し、主枝を隣接する樹の主幹の上に重ねます。これにより樹体からの放射冷却を抑え、凍害発生や日焼けの軽減に効果があります。

また、主幹部を一文字整枝より長くできることから、一文字整枝に比べ枝伸びを抑えられ、着果安定、収穫期の前進、着色の向上といった効果も確認されています。なお、作業性と収量性は、従来の一文字整枝と同様に優れています。



オーバーラップ整枝の様子

3 今後の展開

オーバーラップ整枝の栽培マニュアルを作成し、関係機関と連携しながら生産者への本整枝法の普及を進めていきます。

4 オーバーラップ整枝の許諾について

本整枝法で栽培する場合は、特許利用の許諾が必要です。ただし、県内の生産者については、許諾料は無料となっています。

5 問い合わせ先

(1) 栽培技術関係

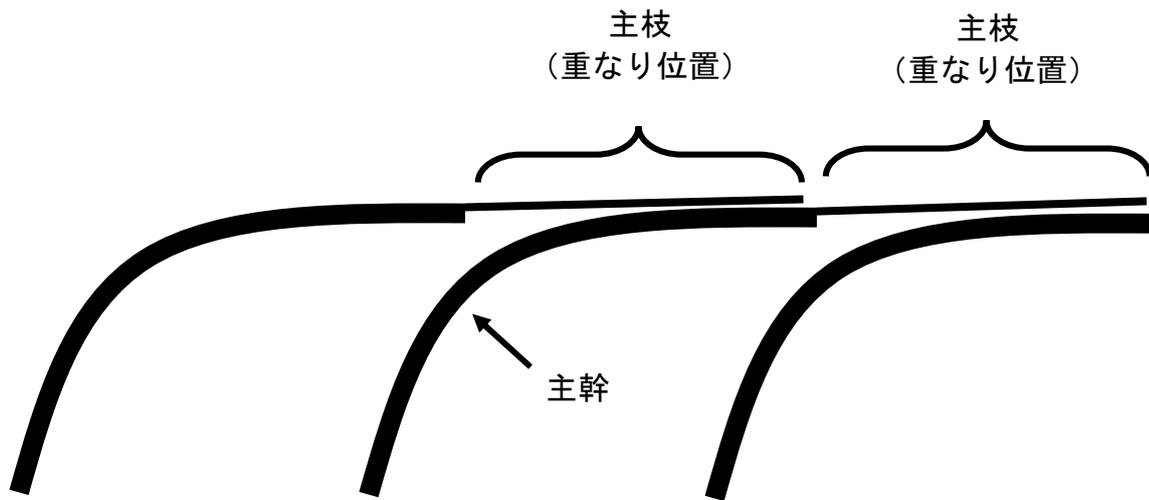
兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部
〒679-0198 加西市別府町南ノ岡甲 1533 電話：(0790)47-2424 FAX：(0790)27-8433

(2) 特許の許諾関係

兵庫県立農林水産技術総合センター企画調整・経営支援部
〒679-0198 加西市別府町南ノ岡甲 1533 電話：(0790)47-2408 FAX：(0790)47-1130

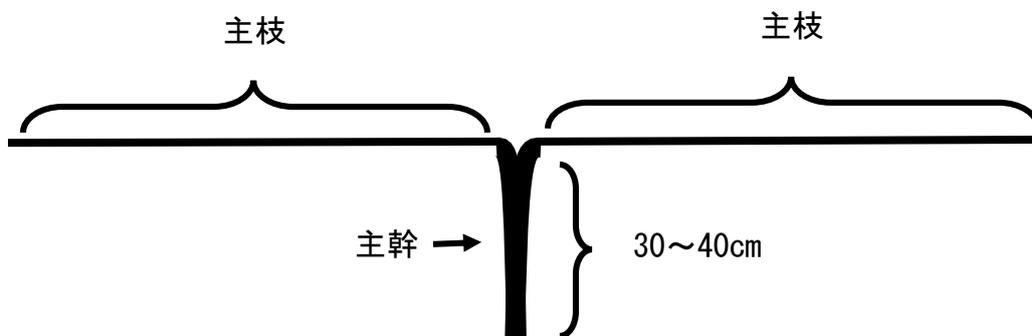
補足資料

1 オーバーラップ整枝の模式図



- 左の樹の主枝が隣接する右側の樹の主幹の上に重なるように配置することで、冬季は主幹部の上面の放射冷却が抑えられ、凍害発生や夏季の日焼け軽減に有効。
- 主幹部を一文字整枝に比べ1 m程度長くでき、樹勢抑制効果が期待できます。

2 従来の一文字整枝



- 冬季に主枝の上面の放射冷却や日焼けを防ぐことができません。
- 主幹部は主枝の高さによって決まります。

3 用語説明

- 凍害：イチジクは寒さに弱く、凍害を受けると樹体の一部が枯死したり、芽が正常に発芽しなくなるといった症状が現れます。その結果、凍害を受けた年の収穫量は大幅に減少し、さらに元の水準に戻るまで数年かかります。
- 主幹：樹において地面から主枝の分岐点までの部分。
- 主枝：主幹から出る枝で樹の骨格となる部分。